

## 農林水産大臣賞（捕獲鳥獣利活用部門（団体））

有害捕獲頭数の増加に伴う焼却処理の財源負担増を解消するため、ペットフードを製造。ブランド化し、商品の販路拡大等に取り組み黒字化を達成。市内の捕獲個体はほぼ全て利活用し、近隣市町からも捕獲個体を受入。

こもろし  
**小諸市**

（市長：小泉 俊博）

### 主な取組

こもろし  
長野県小諸市

- シカの有害捕獲頭数の増加により、捕獲個体の焼却処理費用が大きな財政負担となった。そこで、有害捕獲個体を利活用し処理費用を削減するため、需要の見込めるジビエペットフードの製造に着手。
- 平成27年度に、県の野犬・猫の殺処分場を買い取り、改修して食肉処理業及び食肉販売業の許可を受けた食肉処理加工施設を整備。
- 高い衛生レベルの確保や、大学との共同研究による臨床試験に基づく製品PRに取り組み、高級ペットフードとしてのブランド化を進め、ペット関連業者や動物病院等での販売やふるさと納税の返礼品として販路を拡大し、事業の黒字化を達成。
- 市内の有害捕獲個体はほぼ全ての利活用を達成（約92%）。加えて、近隣市町からも捕獲個体を受け入れ、処理頭数が大幅に拡大。

【小諸市における処理頭数（シカ）】

平成28年度：276頭 → 平成30年度：902頭